

社会福祉法人 日本点字図書館

感謝録

平成29年6月



数多くのご支援に感謝いたします。

(公社) 24時間テレビチャリティー委員会様より点字図書輸送トラックを寄贈いただきました。

感 謝 の 言 葉

社会福祉法人 日本点字図書館

理 事 長 田中 徹二



今年も皆様の温かいご支援により、この感謝録をお届けできますことは、私にとりまして望外の喜びでございます。

報告にございますように、平成 28 年度も例年のように、まず無難に過ごすことができました、ほっとしております。中でも読者の皆様に歓迎されましたのは、テレビ・デイジーでございます。これは NHK のテレビドラマなどを音声解説付きで録音編集し、利用者の皆様に貸出を行なっているものです。朝の連続テレビ小説「べっぴんさん」や大河ドラマ「真田丸」の総集編、その他のドラマをたくさん提供することができました。数回の連続ドラマを、1 回も欠かさずに聴くことはなかなか難しく、まとめて聴くことができると大好評でした。これもひとえに皆様のご支援のおかげと感謝いたします。

一方、これから迎える平成 29 年度は無難に過ごすことができるかどうか、今のところ不安がいっぱいです。

一つは、厚生労働省からの委託費（点字図書や録音図書の製作費）が 1 千万円以上減額されたことです。もう一つは、51 年ぶりに立ちあげた新事業の自立支援事業（相談支援事業、機能訓練事業）の準備が遅れ、その事業収入が、事業に関わる職員の人件費を十分にカバーできるかという心配です。中途失明した皆様の歩行訓練や点字・パソコン訓練、スマートフォンや盲人用具の操作訓練などによって、社会や家庭で少しでも自立していただくための訓練です。それを通して、私どもの本来事業である読書へつなげていければと考えております。利用者は首都圏に限られますが、視覚障害リハビリテーションの分野に進出できますのは、たいへん意義深いことだと信じております。

このような状況を乗り越えるには、ひとえに皆様のご支援にすがりするほかございません。例年にましてのご協力、ご鞭撻を切にお願い申し上げます。

平成 28 年度事業のあらまし

館 長 長岡 英司



年度の初めに障害者差別解消法が施行されたことから、視覚障害者への情報保障に関する社会の意識が高まりました。それに伴って当館では、試験問題、学習資料、会議資料などの点訳や録音の受注が増加しました。そうしたなかで、豊富な経験を持つ点字製版士が急逝するなどの大きな痛手がありましたが、製作担当者の尽力で難題に対処しました。7月に実施された参議院選挙の点字版と録音版の選挙公報の製作では、制約条件の厳しい業務を、全国の関係施設と連携して無事に成し遂げました。

一方、この年度は、図書提供のシステムの整備とコンテンツの拡充で成果を見た一年でもありました。4月末から5月には、当館が管理する視覚障害者用電子図書館システム・サビエの抜本的な改修を、株式会社日立システムズのご協力を得て行ない、安定的に稼働するシステムが実現しました。10月には、音声解説付きテレビドラマの貸出を当館の独自事業として開始し、好評のうちに多くの利用が続いています。また、今後の普及が期待できるテキストデイジーの効率的な製作でも、十分な成果を上げました。

このように、当館が果たすべき役割がますます多様化する一方で、社会状況の変化から国等の委託費や補助金が年々減額されるという厳しい現実があります。そこで、当館の取り組みへの一層のご理解をいただくために、広報活動などの社会に対する働きかけに、従来に増して力を注ぎました。その一つとして、これまでとは異なる大きな規模のチャリティコンサートを12月に開催し、1,200人を超える方々にご来場いただきました。また、いずれも他の法人との共催で、視覚障害者のための用具を対象とする第1回アイデアコンテストを9月に、当館の用具事業開始50周年を記念する式典を11月にそれぞれ実施し、用具事業の意義を社会に向けて改めて示す機会となりました。

当館が指定管理者を務める川崎市視覚障害者情報文化センターの事業を含め、計画のすべてが概ね目標通り実施できましたことは、皆様方の温かいご支援のおかげです。次ページ以降で各事業別の実績をご報告いたします。

平成 28 年度 事業の実績

図書情報サービス

利用登録者数：12,323 人

新規収蔵図書数：点字図書 689 タイトル、録音図書 925 タイトル

蔵書総数：点字図書 21,084 タイトル (79,371 冊)、録音図書 17,374 タイトル

貸出数：点字図書 7,980 タイトル (30,365 冊)、録音図書 118,882 タイトル

ダウンロード提供数：点字図書 1,126 タイトル、録音図書 71,647 タイトル

専門対面リーディングサービス利用実績：延べ 549 人、1,072 時間

中途視覚障害者対象の点字教室開催実績：延べ 1,063 人、224 回

視覚障害者対象の I T 教室開催実績：延べ 102 人、322 回

レファレンス：視覚障害者図書情報提供 79,565 件

視覚障害関係墨字資料（奥村文庫）：新規収蔵 2,317 点、利用 446 件

図書製作事業

製作数：点字図書 185 タイトル (829 冊)、音声デジター 544 タイトル (4,577 時間)

テキストデジター図書 575 タイトル、マルチメディアデジター図書 12 タイトル
(48 時間)

月刊録音雑誌「にってんデジターマガジン」を 78,809 枚配布

ボランティア数：点訳ボランティア 83 名、朗読ボランティア 57 名

デジター編集ボランティア 14 名、テキストデジター編集ボランティア 57 名

録音図書ネットワーク製作システム参加ボランティア 77 名

クラウドソーシング型図書校正参加ボランティア 557 名

視覚障害者用具の販売あつ旋

年間取扱点数：892 種、97,331 点

新規取扱商品：「携帯型拡大読書器ルビ -HD 7 インチ」、

「音声認識人形おしゃべりみーちゃん」、「3 ポケットがまぐち小銭入れ」他

厚生労働省委託・補助事業

〔視覚障害者用図書事業等〕

点字図書：35 タイトル (9,225 冊) 製作、延べ 445 タイトル (1,684 冊) 貸出

録音図書：音声デジター図書を 20 タイトル、マルチメディアデジター図書を
8 タイトル製作、延べ 1,654 タイトル貸出

〔盲人用具の販売あつ旋〕

盲人用具 15 種、22,505 点

〔サピエ図書館の運営（視覚障害者用図書情報ネットワーク運営事業）〕

会員数：個人会員 15,206 人、施設会員 343 施設

提供数：

- ・点字データ 187,416 タイトル
- ・音声デিজリーデータ 72,556 タイトル
- ・テキストデিজリーデータ 4,078 タイトル
- ・マルチメディアデিজリーデータ 141 タイトル
- ・目録 1,044,642 タイトル

利用数：

- ・点字データ 延べ 655,759 タイトル
- ・音声デিজリーデータ 延べ 2,741,839 タイトル
- ・テキストデিজリーデータ 延べ 170,020 タイトル
- ・マルチメディアデিজリーデータ 延べ 4,940 タイトル
- ・目録検索 2,878,233 件
- ・オンラインリクエスト 330,624 件

その他、全国の点字・公共図書館等に 79,565 件の情報を提供しました。



文部科学省委託事業

「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」として、以下の事業を実施。

- ①文部科学省著作教材『私たちの道徳』点字版 4 種各 450 部の製作と配布。
- ②文部科学省著作教材『私たちの道徳』マルチメディアデিজリー版 4 種各 2,000 部の製作と配布。
- ③配布教育機関等へのアンケートの実施。

東京都委託事業

〔点字図書の製作・貸出〕

- ・点字図書：37 タイトル（336 冊）製作、延べ 273 タイトル（1,371 冊）貸出

〔声の図書の製作・貸出〕

- ・声の図書：55 タイトル（280 枚）製作、延べ 3,419 タイトル（3,479 枚）貸出

〔視覚障害者用図書レファレンスサービス〕

- ・都内の視覚障害者、施設・団体に対し 25,937 件の情報提供

〔希望図書の製作〕

- ・個人の希望する点字図書：67 人・150 件、声の図書：120 人・180 件

海外支援事業

■池田輝子基金によりマレーシアにおいて第 13 回池田輝子 ICT 奨学金事業を実施しました。18 名参加（中級 10 名、上級 8 名）

■一般社団法人霞会館の助成によりキルギス共和国においてコンピュータ点字製作技術指導講習会を実施しました。7 名参加

チャリティ公演・イベント

〔チャリティコンサート〕

第14回本間一夫記念日本点字図書館チャリティコンサート

「コーラスの饗宴^{うたげ} 早慶歌合戦」

12月18日（日） 府中の森芸術劇場 どりーむホール 来場者 1,242 名

〔チャリティ映画会〕

・秋の映画会：『ジャージー・ボーイズ』9月30日（木）なかのZERO 小ホール

来場者 267 名

・春の映画会：会場の都合により、実施しませんでした。

〔施設公開イベント〕

●日本点字図書館オープンオフィス

11月12日（土）・13日（日） 来場者 1,000 名

・第13回本間一夫文化賞贈呈式と講演（受賞者 岩田美津子氏）

・にってん野路菊賞贈呈式

・勇退奉仕者感謝状贈呈式

・コンサート「小野リサ ミニコンサート」小野リサ氏（ボサノヴァ・シンガー）

・トークイベント「異文化に触れる～トークと香り、触覚、味覚、音楽と共に楽しむ世界旅行～」秋沢淳子氏（TBS アナウンサー）

・講演「視覚障害の皆さんから教わったこと」迫田朋子氏（日本点字図書館評議員、元NHK放送総局番組制作局教育番組センター・チーフディレクター）

・講演「小説は何のためにあるのか」阿刀田高氏（日本点字図書館後援会長、直木賞作家、山梨県立図書館館長）

川崎市視覚障害者情報文化センター（設置：川崎市／指定管理事業者：日本点字図書館）

・利用登録者数：424 名、264 施設

・蔵書数：点字図書 2,737 タイトル（10,086 冊）、録音図書 4,983 タイトル

・貸出数：点字図書 287 タイトル（981 冊）、録音図書 10,565 タイトル

・ダウンロード提供数：録音図書 1,056 タイトル

・図書製作：点字図書 46 タイトル（189 冊）、録音図書 97 タイトル、テキストデイジー図書 6 タイトル

・訓練事業：生活訓練 8 名、歩行訓練 38 名、パソコン訓練 15 名、点字訓練 9 名

・用具の展示と販売紹介：展示点数 360 点、販売紹介点数 1,233 点

・イベントの開催：コンサート、読書会、センターまつり他

第14回本間一夫記念日本点字図書館チャリティコンサート

「コーラスの饗宴^{うたげ} 早慶歌合戦」を振り返って

平成28年12月18日(日)府中の森芸術劇場どりーむホールにて、当館のチャリティコンサートとしては過去最大規模の、男声合唱によるコンサートが執り行なわれました。

声楽家・岡村喬生先生のお声掛けにより、稲門グリークラブ*と慶應義塾ワグネル・ソサイエティー OB 合唱団より総勢180名の奏者たちが、当館のために一肌脱いでくださったのです。1,200名を超えるお客様を前に、合唱組曲からポピュラーソング、応援歌、校歌を歌いあげ、その洗練された演奏は聴衆のみなさまの心をとらえ、演奏後のアンケートではたくさんのお褒めの言葉をいただきました。さらに、地元府中市の出身で、平成18年のチャリティコンサートにご出演いただいた、ソプラノ歌手の天羽明恵さんもゲスト出演してくださり、紅一点華やかな彩りを添えてくださったことも大きな見所となりました。

また、早稲田大学グリークラブ OB で NHK アナウンサーの柿沼郭氏と、慶應義塾大学出身のフリーアナウンサー安井千紘氏による、両司会者の絶妙な掛け合いも見事でした。両校のライバルとしての古き良き時代のエピソードを、熱く、そしてユーモアたっぷりに語られ、ときにお客様の笑いを誘う場面もありました。気が付くと、早慶 OB に限らず会場全体が両校の良きライバルとしての絆と熱き情熱を共有し、それぞれの若き日に思いを馳せるひとときとなりました。

コンサートを作り上げてくださったみなさまと、ご来場くださったお客様に心より感謝を申し上げ、多くのご寄付を得ることができましたことを含めて、ここにご報告させていただきます。

*稲門グリークラブ：早稲田大学グリークラブ OB 会



池田輝子基金のご報告

高田馬場の篤志家・池田輝子氏から寄贈されたマンション2棟の家賃収入は、41,954,138 円でした。この費用により、録音図書を製作する池田文庫事業およびアジアの若い視覚障害者の自立支援のためにパソコン技術を指導する池田輝子 ICT 奨学金事業を実施しました。

1. 池田文庫事業

- ・録音図書を 109 タイトル製作しました。

2. 池田輝子 ICT 奨学金事業

- ・参加者 18 名

ICT 奨学金事業の参加者からは、次の通り感想をいただきました。

・インドネシアからの参加者

私は、盲人用のコンピュータを使うことによって、大きな知識を得ました。人々を援助するという私の仕事を、本当に助けてくれます。また、社会的メディアやそのほかのことについて、盲人用スクリーンリーダーの付いたコンピュータによって、多く学ぶことができました。ありがとうございました。

・マレーシアからの参加者

講習会の機会を与えてくださり心から感謝します。この講習会で、私はたくさんのことを学びました。それは IT であり、チームワークであり、コミュニケーション技術などです。

この講習会でもらった修了証は、私の就職の大きな手助けとなりました。ぜひ日本点字図書館は、池田輝子 ICT 講習会を毎年続けて、私のような途上国の視覚障害者に貢献してくれることを期待しています。



ご寄付へのお礼とご報告

平成 28 年度は、皆様から以下の通りご厚志を賜りました。

総件数 9,144 件 (前年度 10,150 件)

総額 107,202,822 円 (前年度 235,879,279 円)

その内訳をご報告いたします。

3,000 円未満	702 件	10 万円以上 50 万円未満	105 件
3,000 円以上 5,000 円未満	3,146 件	50 万円以上 100 万円未満	11 件
5,000 円以上 1 万円未満	2,563 件	100 万円以上	8 件
1 万円以上 10 万円未満	2,609 件	合 計	9,144 件

28 年度も、篤志ある皆様のご協力により、多額のご寄付を頂戴することができました。心より感謝申し上げます。

ご厚志をお寄せくださいました皆様、本当にありがとうございました。

このうち、3 件はご遺贈として、3 件はお香典返しとして頂戴いたしました。謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族ならびに関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

◆◆愛のポストカード・愛の CD・DVD 運動へのご支援◆◆

当館では、書き損じはがきや未使用のはがき、ご不要になった市販の音楽 CD や DVD をご寄贈いただいております。はがきは、切手に交換して日常業務に不可欠な通信費の一部に、CD・DVD は、中古店に買い取っていただいた売り上げを運営資金に、それぞれ充当させていただいています。

平成 28 年度は、はがきの切手への引き換え金額は 43,154 円、CD・DVD の買い取り金額は 126,125 円になりました。

この運動は、小・中学生から年配の方まで、幅広い年齢層の方にご参加いただいております、大変ありがたく存じます。当館にとりましても貴重な浄財となっており、いただいたご支援は大切に活用させていただいております。今後も継続してまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

◆◆ ご寄付いただいた主な企業・団体 ◆◆

当館にご寄付いただきました主な企業・団体のお名前です。348 団体の皆様から、合計 9,272,954 円のご寄付を頂戴しました。紙面の都合上、ご協力いただきました企業・団体のすべての皆様の掲載できず、申し訳ございません。全団体は、当館ホームページにてご覧いただけます。（「ご支援のお願い」→「感謝録」）

団 体 名 (五十音順)	
株式会社 I H I	東京都住宅バリアフリー推進協議会事務局
イオンクレジットサービス株式会社	東京都立農芸高等学校
株式会社エルエッチエス	ニシフミート株式会社
海蔵院	株式会社ニデック
医療法人春日上原眼科医院	P F U 労働組合
神奈川県眼科医会	株式会社日立ビルシステム
河和田屋印刷株式会社	医療法人社団雄飛会平岡眼科医院
観音寺	有限会社 F o r Y o u
宗教法人真福寺	一般財団法人報国積善会
一般社団法人全国銀行協会	三菱商事株式会社
全国友の会中央部	三菱電機株式会社
宝印刷株式会社	真宗大谷派開明寺
社会福祉法人中日新聞社会事業団東京支部	柳川特許事務所
電気事業連合会	有限会社ヤマニ
東京 I ゾンタクラブ	リネットジャパングループ株式会社

◆◆ 企業・団体のボランティアのご協力 ◆◆

C S R の一環として、次の企業の社員の皆様には、お昼休みを利用したボランティア活動で、用具事業課で使用する点字シールや、再生紙を利用した封筒作製にご協力いただきました。心より感謝申し上げます。

株式会社アートコーヒー、東京海上日動安心 110 番株式会社、三菱鉱石輸送株式会社、三菱商事株式会社、三菱食品株式会社。

◆◆ 募金箱設置にご協力いただいた主な企業・団体 ◆◆

28 団体の皆様から、合計 602,449 円のご協力を頂戴いたしました。

団 体 名 (五十音順)	
朝日信用金庫	有限会社酒舗まさるや
オリンピック眼科病院	ハイアットリージェンシー東京
柿島屋	横浜ロイヤルパークホテル
かずさ眼科	吉川眼科クリニック
医療法人湘山会眼科三宅病院	ロイヤルパークホテルザ汐留

◆◆ チケット購入にご協力いただいた主な企業・団体のお名前 ◆◆

当館が主催したチャリティ映画会・チャリティコンサートのチケット購入にご協力いただいた主な企業・団体のお名前です。40 団体の皆様から、合計 715,000 円のご協力を頂戴しました。紙面の都合上、ご協力いただきました企業・団体のすべての皆様を掲載できず、申し訳ございません。全団体は、当館ホームページにてご覧いただけます。（「ご支援のお願い」→「感謝録」）

団 体 名 (五十音順)	
社会福祉法人 N H K 厚生文化事業団	東亜ディーケーケー株式会社
N T T 東京福祉文化事業団「ゆいの会」	東京 I ゾンタクラブ
オリンピック眼科病院	東洋はり医学会
株式会社偕成社	株式会社日清製粉グループ本社
学書院	日生総合サービス株式会社
ケージーエス株式会社	株式会社日本財託
株式会社サン・データセンター	公益財団法人日本テレビ小鳩文化事業団
世界救世教いづのめ教団新宿教会	社会福祉法人ぶどうの木ロゴス点字図書館
公益財団法人鉄道弘済会	法明寺
大同通商株式会社	公益財団法人毎日新聞東京社会事業団
天理教東京教区まこと会	有限会社菱和興産

◆◆ 企業や団体からのご助成 ◆◆

企業・団体名	金額 (円)	助 成 内 容
社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団	100,000	国際視覚障害者囲碁東京大会開催費
イオンリテール株式会社	113,000	「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」による助成
株式会社岩波書店	240,000	岩波新書等の録音版の製作・貸出
社会福祉法人 N H K 厚生文化事業団	100,000	国際視覚障害者囲碁東京大会開催費
一般財団法人 N H K サービスセンター	2,000,000	点字版「NHK ウイークリーガイド」の製作・頒布
一般社団法人霞会館	1,000,000	第 22 回アジア盲人図書館協力事業の実施（於 キルギス共和国）
公益信託久保記念点字図書援助基金	380,000	I T 教室用 iOS 機器の購入
埼玉県民共済生活協同組合	5,000,000	点字図書と録音図書の製作・貸出（視覚障害者の情報収集支援事業）

企業・団体名	金額(円)	助成内容
公益財団法人JKA	2,625,000	月刊録音雑誌「医学研究」及び「ホームライフ」の製作・配布（障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動補助事業）
全国労働者共済生活協同組合連合会	1,000,000	点字図書と録音図書の製作・貸出（視覚障害者の情報収集支援事業）
全国ラジオチャリティミュージックソン実行委員会	1,000,000	録音図書デージー編集作業
	1,964,520	触知案内図など製作のための立体コピー機の寄贈
公益財団法人鉄道弘済会	1,800,000	録音雑誌「ブックウェーブ」を製作・貸出
東京日本橋ライオンズクラブ	100,000	国際視覚障害者囲碁東京大会開催費
株式会社トーハン	499,857	点字図書と録音図書を製作するための原本及び資料の提供
公益社団法人24時間テレビチャリティー委員会	5,916,977	点字図書輸送トラックの寄贈
	3,927,000	録音図書製作のための録音機材の寄贈
一般財団法人日本児童教育振興財団	350,000	新規事業テレビ・デージー製作のための機器整備
一般財団法人日本宝くじ協会	2,000,000	点字図書と録音図書の製作・貸出
一般財団法人日本メイスン財団	3,000,000	テキストデージー図書のリクエスト製作
公益財団法人パブリックリソース財団	66,300	点字図書・録音図書製作のための原本購入費
公益財団法人原田積善会	400,000	録音雑誌の複製機器の購入
公益財団法人一ツ橋総合財団	7,000,000	録音図書「一ツ橋文庫」の製作・貸出
		アクセシブルな電子書籍製作のためのシステム整備
		デージー教科書の製作・提供
株式会社文藝春秋	960,000	録音雑誌「文藝春秋」の製作・貸出
公益財団法人毎日新聞東京社会事業団	100,000	国際視覚障害者囲碁東京大会開催費
前田建設工業株式会社	1,000,000	点字作図機の購入助成、シネマ・デージー図書3タイトルの製作・配布
社会福祉法人読売光と愛の事業団	1,456,000	専門対面リーディングサービス事業の実施
		ロービジョンサービス事業の実施
		視覚障害者就労支援機器（点字ディスプレイ）の購入

◆◆ ワンブック・プレゼント運動へのご支援 ◆◆

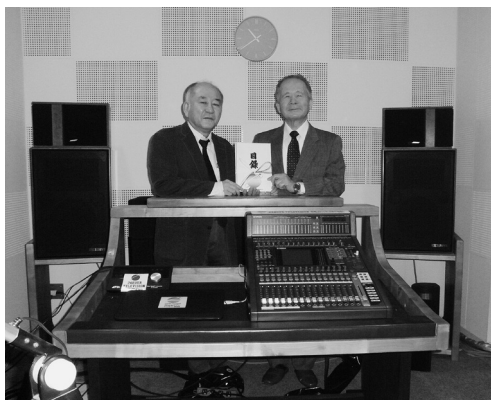
多くの企業・団体と個人の皆様からワンブック・プレゼント運動にご支援いただきました。この運動は、一口10万円単位のご寄付を点字図書・録音図書の製作費用に充てさせていただくものです。完成した図書には、ご寄付くださった企業・団体・個人の方のお名前やメッセージなどを表示して、利用される読者の方に皆様のご支援の一端をお伝えいたします。

点 字 図 書		録 音 図 書	
協力者	口数	協力者	口数
イオンクレジットサービス株式会社	22	イオンクレジットサービス株式会社	23
匿名1件	10	スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社	16
特定非営利活動法人チャリティー・アソシエーション	3	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	5
大竹玉枝	2	ハウス食品労働組合	5
共同印刷株式会社	1	はんだこどもクリニック	3
株式会社サンセイランディック	1	下野恵子	2
鈴木肇	1	匿名1件	2
古川京一	1	株式会社サンセイランディック	1
株式会社日立ビルシステム マatchingギフトファンド	1	株式会社日立システムズ	1
匿名1件	1	株式会社日立ビルシステム マatchingギフトファンド	1
		道の会 (シネマ・デイズ図書へのご協力)	1
		匿名3件 (各1口)	3
点字図書 合計 10件	43口	録音図書 合計 14件	63口
点字図書、録音図書 総計 106口			

◆◆ 公益社団法人24時間テレビチャリティー委員会の寄贈 ◆◆

毎年8月の24時間テレビで集まる多くのご支援。平成27年度は、その一部より、当館に「点字図書輸送トラック」を寄贈いただき、4月に納車されました。点字図書・録音図書を郵便局に運び、読者の皆様に届けるため、なくてはならないものであり、毎日、使わせていただいております。(写真は本冊子表紙に掲載)

平成28年度は、当館の「録音スタジオ室改修」にご支援いただきました。当館には、録音図書や録音雑誌の製作のために、いくつもスタジオがございます。その中の広いスタジオの調整卓が古くなり、不具合が生じていたため、ご助成により更新いたしました。



決算のあらまし

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日

単位 (円)

事業活動による収支 (収入)	
点字図書館事業収入	550,028,412
盲人用具販売事業収入	390,789,936
マンション経営事業収入	41,954,138
本部事業収入	5,194,789
経常経費寄附金収入	120,581,314
受取利息配当金収入	4,930,305
その他の収入	3,471,238
事業活動収入計 (1)	1,116,950,132
事業活動による収支 (支出)	
人件費支出 (法人負担分)	324,979,811
委託・補助金事業人件費支出	222,767,371
事業費支出	459,388,034
事務費支出	97,999,652
その他の支出	1,031,278
事業活動支出計 (2)	1,106,166,146
事業活動資金収支差額 (3=1-2)	10,783,986
施設整備等による収支 (収入)	
施設整備等補助金収入	1,106,000
設備資金借入金収入	7,200,000
固定資産売却収入	120,000
施設整備等収入計 (4)	8,426,000
施設整備等による収支 (支出)	
設備資金借入金元金償還支出	7,338,850
固定資産取得支出	13,156,841
ファイナンス・リース債務の返済支出	756,336
施設整備等支出計 (5)	21,252,027
施設整備等資金収支差額 (6=4-5)	△ 12,826,027
その他の活動による収支 (収入)	
投資有価証券売却収入	12,763,013
積立資産取崩収入	72,541,093
その他の活動による収入	364,000
その他の活動収入計 (7)	85,668,106
その他の活動による収支 (支出)	
積立資産支出	62,000,000
その他の活動による支出	979,950
その他の活動支出計 (8)	62,979,950
その他の活動資金収支差額 (9=7-8)	22,688,156
当期資金収支差額合計 (10=3+6+9)	20,646,115
前期末支払資金残高 (11)	
当期末支払資金残高 (10+11)	74,738,619

日本点字図書館のあゆみ

1940（昭和15）年	全盲の青年 本間一夫が日本盲人図書館（現在の社会福祉法人日本点字図書館）を創立 蔵書700冊
1945（昭和20）年	戦災により本館焼失 貸出は疎開先で継続
1948（昭和23）年	焼け跡に仮建築で再出発 日本点字図書館に改称
1952（昭和27）年	社会福祉法人となる
1953（昭和28）年	本間一夫が朝日社会奉仕賞受賞
1954（昭和29）年	厚生省から点字図書製作事業の委託を受ける
1958（昭和33）年	声のライブラリー発足 テープ50巻、レコード1台
1960（昭和35）年	「中途失明者のための点字教室」を開始
1966（昭和41）年	視覚障害者用生活用具の開発と普及事業を開始
1976（昭和51）年	声の図書の「カセットテープ化」を開始
1989（平成元）年	厚生大臣特別表彰（身体障害者福祉功労団体）を受賞
1991（平成3）年	パソコン点訳者養成事業開始
1994（平成6）年	アジア盲人図書館協力事業開始
1996（平成8）年	専門対面リーディングサービス開始
1998（平成10）年	国費による新別館完成 皇后陛下ご臨席のもと新館披露の式典開催
1999（平成11）年	デジタル録音図書（CD図書）の製作・貸出開始
2003（平成15）年	本間一夫と日本点字図書館が、第10回井上靖文化賞を受賞 ロービジョンサポート事業開始 創立者本間一夫他界（享年87歳）
2004（平成16）年	録音図書ネットワーク配信サービス「びぶりおネット」開始
2005（平成17）年	ユニバーサルデザイン推進室（UDラボ）設置 録音図書ネットワーク製作システム（びぶりお工房）開始
2007（平成19）年	アジア太平洋障害者の10年の中間年記念 内閣総理大臣表彰受賞
2008（平成20）年	チャリティコンサートに皇后陛下のご臨席を賜る
2009（平成21）年	CD雑誌「にってんデイジーマガジン」創刊
2010（平成22）年	視覚障害者情報総合ネットワーク「サビエ」開始 「日点みんなの集い」に皇后陛下のご臨席を賜る
2011（平成23）年	カセットテープによる録音図書サービスを終了
2014（平成26）年	川崎市視覚障害者情報文化センターの管理運営開始
2015（平成27）年	塙保己一賞貢献賞受賞

役 員

理事長	田中 徹二	
常務理事	長岡 英司	館長
同 事	伊藤 宣真	本部長
理 事	芦田 真吾	東京都医師国民健康保険組合事務局長
同	大塚 信一	元(株)岩波書店代表取締役社長
同	岡村 喬生	声楽家・音楽監督
同	河 幹夫	神奈川県立保健福祉大学教授
同	田中 敏雄	前(社福)日本盲人職能開発センター理事長
同	花島 弘	(公財)ダスキン愛の輪基金評議員
同	三田 誠広	作家・(公社)日本文藝家協会副理事長
監 事	野田 聖子	弁護士
同	福母 淳治	(公財)日本障害者リハビリテーション協会常務理事

評 議 員

石橋 迪子	高橋 秀治	星川 安之	渡邊 岳
加藤真由美	立花 明彦	本間 一明	渡邊 廣之
樽松 武男	富田 清邦	増渕 路子	和波 孝禧
迫田 朋子	福島 智	山岡 三治	

後援会長 阿刀田 高 (作家)



社会福祉法人 日本点字図書館

〒169-8586 東京都新宿区高田馬場1-23-4

電話 (03) 3209-0241 (代表) FAX (03) 3204-5641

ホームページ <http://www.nittento.or.jp/> Eメール nitten@nittento.or.jp

ゆうちょ銀行振替口座 一 般: 00160-2-100288

取引銀行及び普通預金口座番号

みずほ銀行	高田馬場支店	普通	2855735
三井住友銀行	高田馬場支店	普通	92380
三菱東京UFJ銀行	高田馬場駅前支店	普通	167456

口座名: 社会福祉法人 日本点字図書館 フリガナ: フク) ニッポンテンジトショカン

インターネットからもご寄付いただけます

で検索

(敬称は省略させていただきました)